

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 群馬県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	心臓血管センター	2
-	がんセンター	3
-	精神医療センター	4
-	小児医療センター	5
伊勢崎市	伊勢崎市民病院	6
藤岡市	藤岡市国民健康保険鬼石病院	7
安中市	公立碓氷病院	8
桐生地域医療組合	桐生厚生総合病院	9
多野藤岡医療事務市町村組合	公立藤岡総合病院	10
邑楽館林医療事務組合（事業会計分）	館林厚生病院	11
富岡地域医療企業団	富岡総合病院	12
富岡地域医療企業団	七日市病院	13
下仁田南牧医療事務組合	下仁田厚生病院	14
吾妻広域町村圏振興整備組合（事業会計分）	中之条病院	15
西吾妻福祉病院組合（事業会計分）	西吾妻福祉病院	16

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	群馬県
				市町村・組合名	
				病院名	心臓血管センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,000 m ²	指定病院の状況	救地輪		
診療科数	8	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	195	71.8	71.2	67.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	195	71.8	71.2	67.1
平均在院日数(一般病床のみ)		10.4	10.3	10.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,973,115	
決算規模(千円)	731,153,907	
標準財政規模(千円)	440,557,684	
財政力指数	0.64620	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	165.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.7
修正医業収益(千円)	8,160,092

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,419,169			
1 経常収益	9,419,012			
(1) 医業収益	8,240,875			
入院収益	7,173,378			
外来収益	849,461			
診療収入計	8,022,839			
その他医業収益	218,036			
(うち他会計負担金)	80,783			
(2) 医業外収益	1,178,137			
(うち国・都道府県補助金)	460			
(うち他会計補助・負担金)	628,553			
(うち長期前受金戻入)	353,418			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	157			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,556,229			
2 経常費用	9,556,229			
(1) 医業費用	9,407,297			
職員給与費	3,081,020	37.4	55.7	61.3
材料費	3,904,716	47.4	24.7	17.6
(うち薬品費)	291,670	3.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,572,690	43.4	11.0	8.2
減価償却費	767,279	9.3	9.0	10.2
経費	1,588,874	19.3	23.3	30.5
(うち委託料)	758,643	9.2	11.5	13.0
研究研修費	47,313			
資産減耗費	18,095			
(2) 医業外費用	148,932			
(うち支払利息)	61,017	0.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-137,217			
純損益	-137,060			
累積欠損金	2,924,783			
経常収支比率	98.6		97.7	96.5
医業収支比率	87.6		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	7.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	91.1		85.7	80.7

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,508,203
1 固定資産	26,104,640
(1) 有形固定資産	26,098,651
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,403,563
(1) 現金及び預金	3,426,599
(2) 未収金及び未収収益	3,834,988
(3) 貸倒引当金()	106
(4) 貯蔵品	111,916
3 繰延資産	-
負債合計	30,804,358
1 固定負債	19,577,737
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,472,507
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,079,180
(7) リース債務	26,050
2 流動負債	6,191,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,941,299
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	841,748
(6) リース債務	12,504
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,267,550
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,034,853
(1) 長期前受金	24,647,369
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,612,516
資本合計	2,703,845
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-7,729,786
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,341,598
負債・資本合計	33,508,203
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	701,004	709,336
資本勘定繰入	508,338	508,338
計	1,209,342	1,217,674

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	群馬県
				市町村・組合名	
				病院名	がんセンター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,505 m ²	指定病院の状況	臨が		
診療科数	23	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	314	63.0	68.5	67.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	314	63.0	68.5	67.5
平均在院日数(一般病床のみ)		12.8	13.4	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	1,973,115	
決算規模(千円)	731,153,907	
標準財政規模(千円)	440,557,684	
財政力指数	0.64620	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	165.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.5
修正医業収益(千円)	8,833,036

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,300,161			
1 経常収益	10,289,263			
(1) 医業収益	8,850,856			
入院収益	4,255,230			
外来収益	4,276,641			
診療収入計	8,531,871			
その他医業収益	318,985			
(うち他会計負担金)	17,820			
(2) 医業外収益	1,438,407			
(うち国・都道府県補助金)	9,326			
(うち他会計補助・負担金)	717,709			
(うち長期前受金戻入)	623,526			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,898			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,902,175			
2 経常費用	10,901,498			
(1) 医業費用	10,580,089			
職員給与費	3,667,932	41.4	55.7	57.0
材料費	3,673,495	41.5	24.7	24.5
(うち薬品費)	2,688,060	30.4	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	929,314	10.5	11.0	11.3
減価償却費	1,157,344	13.1	9.0	9.3
経費	1,936,223	21.9	23.3	22.1
(うち委託料)	964,308	10.9	11.5	11.1
研究研修費	124,433			
資産減耗費	20,662			
(2) 医業外費用	321,409			
(うち支払利息)	26,985	0.3	1.4	1.4
(3) 特別損失	677			
損益				
経常損益	-612,235			
純損益	-602,014			
累積欠損金	4,216,294			
経常収支比率	94.4		97.7	96.4
医業収支比率	83.7		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	7.1		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.3		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	7.1		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	87.6		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,508,203
1 固定資産	26,104,640
(1) 有形固定資産	26,098,651
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,403,563
(1) 現金及び預金	3,426,599
(2) 未収金及び未収収益	3,834,988
(3) 貸倒引当金()	106
(4) 貯蔵品	111,916
3 繰延資産	-
負債合計	30,804,358
1 固定負債	19,577,737
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,472,507
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,079,180
(7) リース債務	26,050
2 流動負債	6,191,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,941,299
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	841,748
(6) リース債務	12,504
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,267,550
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,034,853
(1) 長期前受金	24,647,369
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,612,516
資本合計	2,703,845
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-7,729,786
(1) 資本金剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,341,598
負債・資本合計	33,508,203
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	728,743	735,529
資本勘定繰入	600,042	600,042
計	1,328,785	1,335,571

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	群馬県
				市町村・組合名	
				病院名	精神医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,594 m ²	指定病院の状況	臨 輪		
診療科数	5	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	265	68.4	66.7	62.0
感染症	-	-	-	-
計	265	68.4	66.7	62.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,973,115	
決算規模(千円)	731,153,907	
標準財政規模(千円)	440,557,684	
財政力指数	0.64620	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	165.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,945,787			
1 経常収益	2,886,659			
(1) 医業収益	2,047,803			
入院収益	1,746,791			
外来収益	234,973			
診療収入計	1,981,764			
その他医業収益	66,039			
(うち他会計負担金)	36,781			
(2) 医業外収益	838,856			
(うち国・都道府県補助金)	5,630			
(うち他会計補助・負担金)	664,156			
(うち長期前受金戻入)	152,386			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	59,128			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,809,534			
2 経常費用	2,809,534			
(1) 医業費用	2,724,049			
職員給与費	1,770,502	86.5	55.7	98.9
材料費	162,927	8.0	24.7	8.8
(うち薬品費)	90,073	4.4	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	18,580	0.9	11.0	1.1
減価償却費	260,146	12.7	9.0	12.7
経費	518,811	25.3	23.3	34.6
(うち委託料)	238,044	11.6	11.5	17.1
研究研修費	10,577			
資産減耗費	1,086			
(2) 医業外費用	85,485			
(うち支払利息)	73,112	3.6	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	77,125			
純損益	136,253			
累積欠損金	777,617			
経常収支比率	102.7		97.7	98.9
医業収支比率	75.2		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	24.3		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	34.2		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	23.8		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	77.8		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,508,203
1 固定資産	26,104,640
(1) 有形固定資産	26,098,651
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,403,563
(1) 現金及び預金	3,426,599
(2) 未収金及び未収収益	3,834,988
(3) 貸倒引当金()	106
(4) 貯蔵品	111,916
3 繰延資産	-
負債合計	30,804,358
1 固定負債	19,577,737
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,472,507
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,079,180
(7) リース債務	26,050
2 流動負債	6,191,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,941,299
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	841,748
(6) リース債務	12,504
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,267,550
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,034,853
(1) 長期前受金	24,647,369
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,612,516
資本合計	2,703,845
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-7,729,786
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,341,598
負債・資本合計	33,508,203
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	73.8
修正医業収益(千円)	2,011,022

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	697,309	700,937
資本勘定繰入	280,499	280,499
計	977,808	981,436

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	群馬県
				市町村・組合名	
				病院名	小児医療センター
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,004 m ²	指定病院の状況	臨		
診療科数	16	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	150	71.9	76.2	70.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	71.9	76.2	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.0	11.6	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	1,973,115	
決算規模(千円)	731,153,907	
標準財政規模(千円)	440,557,684	
財政力指数	0.64620	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	165.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	68.1
修正医業収益(千円)	4,380,587

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,322,007			
1 経常収益	6,306,910			
(1) 医業収益	4,537,793			
入院収益	3,420,381			
外来収益	823,276			
診療収入計	4,243,657			
その他医業収益	294,136			
(うち他会計負担金)	157,206			
(2) 医業外収益	1,769,117			
(うち国・都道府県補助金)	18,508			
(うち他会計補助・負担金)	1,322,736			
(うち長期前受金戻入)	275,030			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	15,097			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,561,993			
2 経常費用	6,545,656			
(1) 医業費用	6,437,186			
職員給与費	3,340,838	73.6	55.7	61.3
材料費	1,130,211	24.9	24.7	17.6
(うち薬品費)	562,635	12.4	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	546,154	12.0	11.0	8.2
減価償却費	490,912	10.8	9.0	10.2
経費	1,423,890	31.4	23.3	30.5
(うち委託料)	564,588	12.4	11.5	13.0
研究研修費	38,922			
資産減耗費	12,413			
(2) 医業外費用	108,470			
(うち支払利息)	10,022	0.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	16,337			
損益				
経常損益	-238,746			
純損益	-239,986			
累積欠損金	422,904			
経常収支比率	96.4		97.7	96.5
医業収支比率	70.5		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.5		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	32.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	23.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	73.7		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	33,508,203
1 固定資産	26,104,640
(1) 有形固定資産	26,098,651
(2) 無形固定資産	5,989
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	7,403,563
(1) 現金及び預金	3,426,599
(2) 未収金及び未収収益	3,834,988
(3) 貸倒引当金()	106
(4) 貯蔵品	111,916
3 繰延資産	-
負債合計	30,804,358
1 固定負債	19,577,737
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,472,507
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	5,079,180
(7) リース債務	26,050
2 流動負債	6,191,768
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,941,299
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	841,748
(6) リース債務	12,504
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,267,550
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,034,853
(1) 長期前受金	24,647,369
(2) 長期前受金収益化累計額()	19,612,516
資本合計	2,703,845
1 資本金	10,433,631
2 剰余金	-7,729,786
(1) 資本剰余金	611,812
(2) 利益剰余金	-8,341,598
負債・資本合計	33,508,203
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,474,287	1,479,942
資本勘定繰入	186,264	186,264
計	1,660,551	1,666,206

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	群馬県
	市町村・組合名	伊勢崎市
	病院名	伊勢崎市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	45,421 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪
診療科数	23	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	490	82.2	83.2	83.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	3.6	-	-
計	494	81.5	82.6	82.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	11.0	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	208,814	
決算規模(千円)	76,479,191	
標準財政規模(千円)	42,428,578	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.9
	将来負担比率(%)	41.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	99.6
修正医業収益(千円)	14,846,739

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,322,471			
1 経常収益	15,322,471			
(1) 医業収益	15,004,302			
入院収益	9,964,387			
外来収益	4,376,999			
診療収入計	14,341,386			
その他医業収益	662,916			
(うち他会計負担金)	157,563			
(2) 医業外収益	318,169			
(うち国・都道府県補助金)	48,003			
(うち他会計補助・負担金)	164,918			
(うち長期前受金戻入)	3,150			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,720,770			
2 経常費用	15,720,770			
(1) 医業費用	14,905,874			
職員給与費	7,658,569	51.0	55.7	54.0
材料費	4,467,242	29.8	24.7	26.9
(うち薬品費)	2,247,664	15.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,212,593	14.7	11.0	12.2
減価償却費	831,692	5.5	9.0	7.9
経費	1,895,835	12.6	23.3	19.2
(うち委託料)	1,156,270	7.7	11.5	9.3
研究研修費	38,506			
資産減耗費	14,030			
(2) 医業外費用	814,896			
(うち支払利息)	169,896	1.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-398,299			
純損益	-398,299			
累積欠損金	3,500,839			
経常収支比率	97.5		97.7	98.8
医業収支比率	100.7		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	2.1		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	2.1		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	2.1		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	95.4		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,596,952
1 固定資産	12,626,993
(1) 有形固定資産	11,025,775
(2) 無形固定資産	1,108
(3) 投資その他の資産	1,600,110
2 流動資産	8,969,959
(1) 現金及び預金	6,430,257
(2) 未収金及び未収収益	2,418,396
(3) 貸倒引当金()	13,004
(4) 貯蔵品	112,878
3 繰延資産	-
負債合計	11,565,608
1 固定負債	8,697,546
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,601,214
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,094,950
(7) リース債務	1,382
2 流動負債	2,856,178
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	899,191
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	441,678
(6) リース債務	4,391
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,453,489
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	11,884
(1) 長期前受金	100,949
(2) 長期前受金収益化累計額()	89,065
資本合計	10,031,344
1 資本金	13,522,183
2 剰余金	-3,490,839
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,490,839
負債・資本合計	21,596,952
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	322,481	322,481
資本勘定繰入	548,073	548,073
計	870,554	870,554

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	群馬県
				市町村・組合名	藤岡市
				病院名	藤岡市国民健康保険鬼石病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,886 m ²	指定病院の状況	救 輪		
診療科数	10	看護配置	13:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	52	91.0	93.1	88.5
療養	47	85.5	86.7	84.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	99	88.4	90.0	86.4
平均在院日数(一般病床のみ)		28.8	26.9	29.1

設立団体の状況		
人口(人)	65,708	
決算規模(千円)	25,587,009	
標準財政規模(千円)	15,330,878	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	97.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.7
	将来負担比率(%)	4.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,160,069			
1 経常収益	1,160,069			
(1) 医業収益	999,619			
入院収益	819,791			
外来収益	131,830			
診療収入計	951,621			
その他医業収益	47,998			
(うち他会計負担金)	25,081			
(2) 医業外収益	160,450			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	75,211			
(うち長期前受金戻入)	28,034			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,215,315			
2 経常費用	1,215,315			
(1) 医業費用	1,127,145			
職員給与費	802,875	80.3	55.7	72.6
材料費	100,283	10.0	24.7	15.8
(うち薬品費)	39,585	4.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	43,100	4.3	11.0	5.6
減価償却費	64,302	6.4	9.0	11.1
経費	156,857	15.7	23.3	31.9
(うち委託料)	92,979	9.3	11.5	13.0
研究研修費	2,023			
資産減耗費	805			
(2) 医業外費用	88,170			
(うち支払利息)	8,800	0.9	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-55,246			
純損益	-55,246			
累積欠損金	1,096,594			
経常収支比率	95.5		97.7	97.4
医業収支比率	88.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	10.0		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	87.2		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,468,579
1 固定資産	960,016
(1) 有形固定資産	959,696
(2) 無形固定資産	320
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	508,563
(1) 現金及び預金	304,481
(2) 未収金及び未収収益	202,120
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	1,962
3 繰延資産	-
負債合計	1,208,466
1 固定負債	839,164
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	483,881
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	355,283
(7) リース債務	-
2 流動負債	184,556
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	48,004
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,655
(6) リース債務	952
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	77,419
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	184,746
(1) 長期前受金	398,753
(2) 長期前受金収益化累計額()	214,007
資本合計	260,113
1 資本金	1,328,343
2 剰余金	-1,068,230
(1) 資本金剰余金	21,864
(2) 利益剰余金	-1,090,094
負債・資本合計	1,468,579
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.5
修正医業収益(千円)	974,538

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	103,100	100,292
資本勘定繰入	37,075	41,940
計	140,175	142,232

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	109.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	群馬県
	市町村・組合名	安中市
	病院名	公立碓氷病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	12,568 m ²	指定病院の状況	救
診療科数	21	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	149	41.3	41.1	43.1
療養	50	60.4	72.2	76.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	46.1	48.9	51.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.2	15.2	14.9

設立団体の状況		
人口(人)	58,531	
決算規模(千円)	23,167,803	
標準財政規模(千円)	15,194,179	
財政力指数	0.78	
経常収支比率(%)	95.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.3
	将来負担比率(%)	2.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	69.9
修正医業収益(千円)	1,792,329

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,612,748			
1 経常収益	2,612,748			
(1) 医業収益	1,877,614			
入院収益	1,004,980			
外来収益	728,978			
診療収入計	1,733,958			
その他医業収益	143,656			
(うち他会計負担金)	85,285			
(2) 医業外収益	735,134			
(うち国・都道府県補助金)	16,734			
(うち他会計補助・負担金)	595,913			
(うち長期前受金戻入)	115,272			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,651,972			
2 経常費用	2,651,972			
(1) 医業費用	2,564,769			
職員給与費	1,250,091	66.6	55.7	61.3
材料費	482,326	25.7	24.7	17.6
(うち薬品費)	305,392	16.3	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	150,717	8.0	11.0	8.2
減価償却費	238,001	12.7	9.0	10.2
経費	588,494	31.3	23.3	30.5
(うち委託料)	249,921	13.3	11.5	13.0
研究研修費	5,857			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	87,203			
(うち支払利息)	12,873	0.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-39,224			
純損益	-39,224			
累積欠損金	1,441,308			
経常収支比率	98.5		97.7	96.5
医業収支比率	73.2		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.1		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	36.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	26.1		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	72.8		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,042,703
1 固定資産	2,508,323
(1) 有形固定資産	2,508,323
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	534,380
(1) 現金及び預金	268,094
(2) 未収金及び未収収益	282,864
(3) 貸倒引当金()	30,921
(4) 貯蔵品	14,343
3 繰延資産	-
負債合計	1,975,266
1 固定負債	1,143,758
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	948,883
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	194,875
(7) リース債務	-
2 流動負債	350,864
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	153,473
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	92,978
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	90,502
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	480,644
(1) 長期前受金	1,850,303
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,369,659
資本合計	1,067,437
1 資本金	2,508,745
2 剰余金	-1,441,308
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,441,308
負債・資本合計	3,042,703
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	222,667	681,198
資本勘定繰入	114,107	114,107
計	336,774	795,305

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	76.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	群馬県
				市町村・組合名	桐生地域医療組合
				病院名	桐生厚生総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,089 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	25	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	467	63.5	67.4	67.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	471	62.9	66.9	67.3
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	13.3	12.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.0
修正医業収益(千円)	8,485,158

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	10,543,021			
1 経常収益	9,759,917			
(1) 医業収益	8,675,223			
入院収益	5,716,652			
外来収益	2,517,730			
診療収入計	8,234,382			
その他医業収益	440,841			
(うち他会計負担金)	190,065			
(2) 医業外収益	1,084,694			
(うち国・都道府県補助金)	139,480			
(うち他会計補助・負担金)	595,782			
(うち長期前受金戻入)	291,192			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	783,104			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,307,828			
2 経常費用	10,307,828			
(1) 医業費用	9,978,924			
職員給与費	5,562,139	64.1	55.7	54.0
材料費	1,956,044	22.5	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,174,887	13.5	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	701,177	8.1	11.0	12.2
減価償却費	581,452	6.7	9.0	7.9
経費	1,849,617	21.3	23.3	19.2
(うち委託料)	1,028,628	11.9	11.5	9.3
研究研修費	23,466			
資産減耗費	6,206			
(2) 医業外費用	328,904			
(うち支払利息)	9,875	0.1	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-547,911			
純損益	235,193			
累積欠損金	3,831,394			
経常収支比率	94.7		97.7	98.8
医業収支比率	86.9		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.1		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.1		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	7.5		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	87.1		85.7	89.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,924,620
1 固定資産	5,504,734
(1) 有形固定資産	5,502,626
(2) 無形固定資産	2,108
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,419,886
(1) 現金及び預金	925,713
(2) 未収金及び未収収益	1,502,091
(3) 貸倒引当金()	29,295
(4) 貯蔵品	18,931
3 繰延資産	-
負債合計	4,556,238
1 固定負債	1,372,796
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,372,796
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,611,297
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	384,481
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	376,468
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	802,902
(9) 前受金及び前受収益	80
3 繰延収益	1,572,145
(1) 長期前受金	6,512,156
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,940,011
資本合計	3,368,382
1 資本金	7,196,376
2 剰余金	-3,827,994
(1) 資本剰余金	3,400
(2) 利益剰余金	-3,831,394
負債・資本合計	7,924,620
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	785,847	785,847
資本勘定繰入	455,766	450,766
計	1,241,613	1,236,613

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	44.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	群馬県
				市町村・組合名	多野藤岡医療事務市町村組合
				病院名	公立藤岡総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,429 m ²	指定病院の状況	救臨が感災地輪		
診療科数	27	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	395	85.6	88.7	86.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	2.3	-	-
計	399	84.8	87.8	85.5
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	13.8	13.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	94.5
修正医業収益(千円)	10,405,172

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,287,605			
1 経常収益	11,066,692			
(1) 医業収益	10,501,327			
入院収益	6,721,133			
外来収益	3,250,966			
診療収入計	9,972,099			
その他医業収益	529,228			
(うち他会計負担金)	96,155			
(2) 医業外収益	565,365			
(うち国・都道府県補助金)	37,049			
(うち他会計補助・負担金)	156,264			
(うち長期前受金戻入)	313,438			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	220,913			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,574,918			
2 経常費用	11,573,911			
(1) 医業費用	11,005,603			
職員給与費	5,393,309	51.4	55.7	57.0
材料費	2,729,374	26.0	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,505,288	14.3	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,145,830	10.9	11.0	11.3
減価償却費	1,192,918	11.4	9.0	9.3
経費	1,654,228	15.8	23.3	22.1
(うち委託料)	1,025,985	9.8	11.5	11.1
研究研修費	25,606			
資産減耗費	10,168			
(2) 医業外費用	568,308			
(うち支払利息)	161,802	1.5	1.4	1.4
(3) 特別損失	1,007			
損益				
経常損益	-507,219			
純損益	-287,313			
累積欠損金	-			
経常収支比率	95.6		97.7	96.4
医業収支比率	95.4		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	2.3		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	2.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	2.2		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	93.4		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,827,999
1 固定資産	18,920,007
(1) 有形固定資産	18,192,760
(2) 無形固定資産	68,303
(3) 投資その他の資産	658,944
2 流動資産	5,907,992
(1) 現金及び預金	3,762,134
(2) 未収金及び未収収益	2,007,623
(3) 貸倒引当金()	39,298
(4) 貯蔵品	165,857
3 繰延資産	-
負債合計	21,284,215
1 固定負債	18,064,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	15,863,325
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,201,517
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,331,058
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,177,733
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	306,645
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	802,303
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	888,315
(1) 長期前受金	7,967,085
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,078,770
資本合計	3,543,784
1 資本金	959,515
2 剰余金	2,584,269
(1) 資本金剰余金	1,931,847
(2) 利益剰余金	652,422
負債・資本合計	24,827,999
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	252,419	252,419
資本勘定繰入	598,007	598,007
計	850,426	850,426

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	群馬県
	市町村・組合名	邑楽館林医療事務組合(事業会計分)
	病院名	館林厚生病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	31,837 m ²	指定病院の状況	救臨感災地
診療科数	25	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	323	84.4	80.0	86.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	4.7	-	-
計	329	83.0	78.6	84.4
平均在院日数(一般病床のみ)		14.0	13.0	14.0

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	87.4
修正医業収益(千円)	6,746,198

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	7,640,679			
1 経常収益	7,640,679			
(1) 医業収益	7,010,360			
入院収益	4,643,849			
外来収益	1,811,704			
診療収入計	6,455,553			
その他医業収益	554,807			
(うち他会計負担金)	264,162			
(2) 医業外収益	630,319			
(うち国・都道府県補助金)	26,042			
(うち他会計補助・負担金)	500,082			
(うち長期前受金戻入)	73,092			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,022,854			
2 経常費用	8,022,854			
(1) 医業費用	7,717,538			
職員給与費	3,993,709	57.0	55.7	57.0
材料費	1,555,304	22.2	24.7	24.5
(うち薬品費)	938,229	13.4	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	556,503	7.9	11.0	11.3
減価償却費	763,097	10.9	9.0	9.3
経費	1,388,414	19.8	23.3	22.1
(うち委託料)	570,264	8.1	11.5	11.1
研究研修費	15,354			
資産減耗費	1,660			
(2) 医業外費用	305,316			
(うち支払利息)	81,809	1.2	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-382,175			
純損益	-382,175			
累積欠損金	2,628,829			
経常収支比率	95.2		97.7	96.4
医業収支比率	90.8		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	10.0		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.9		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	10.0		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	85.7		85.7	85.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,771,599
1 固定資産	8,996,873
(1) 有形固定資産	8,974,754
(2) 無形固定資産	2,115
(3) 投資その他の資産	20,004
2 流動資産	1,774,726
(1) 現金及び預金	485,532
(2) 未収金及び未収収益	1,262,167
(3) 貸倒引当金()	5,680
(4) 貯蔵品	32,707
3 繰延資産	-
負債合計	11,254,200
1 固定負債	8,609,534
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,616,851
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,981,356
(7) リース債務	11,327
2 流動負債	1,158,203
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	416,446
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	276,719
(6) リース債務	10,751
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	447,512
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,486,463
(1) 長期前受金	1,855,822
(2) 長期前受金収益化累計額()	369,359
資本合計	-482,601
1 資本金	2,146,224
2 剰余金	-2,628,825
(1) 資本金剰余金	4
(2) 利益剰余金	-2,628,829
負債・資本合計	10,771,599
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	482,601
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	739,209	764,244
資本勘定繰入	298,479	352,077
計	1,037,688	1,116,321

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	37.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	群馬県
	市町村・組合名	富岡地域医療企業団
	病院名	富岡総合病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	334	80.1	80.6	83.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	338	79.2	79.6	82.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.4	11.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	29,110 m ²	指定病院の状況	救臨が感災輪
診療科数	20	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	98.2
修正医業収益(千円)	8,980,911

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,381,175			
1 経常収益	9,381,175			
(1) 医業収益	8,990,945			
入院収益	5,277,883			
外来収益	3,224,526			
診療収入計	8,502,409			
その他医業収益	488,536			
(うち他会計負担金)	10,034			
(2) 医業外収益	390,230			
(うち国・都道府県補助金)	25,343			
(うち他会計補助・負担金)	119,189			
(うち長期前受金戻入)	167,774			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,500,997			
2 経常費用	9,500,997			
(1) 医業費用	9,146,393			
職員給与費	5,336,566	59.4	55.7	57.0
材料費	2,271,272	25.3	24.7	24.5
(うち薬品費)	1,346,406	15.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	855,933	9.5	11.0	11.3
減価償却費	484,029	5.4	9.0	9.3
経費	1,014,670	11.3	23.3	22.1
(うち委託料)	499,092	5.6	11.5	11.1
研究研修費	26,547			
資産減耗費	13,309			
(2) 医業外費用	354,604			
(うち支払利息)	52,415	0.6	1.4	1.4
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-119,822			
純損益	-119,822			
累積欠損金	-			
経常収支比率	98.7		97.7	96.4
医業収支比率	98.3		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	1.4		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	1.4		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	1.4		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	97.4		85.7	85.3

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,853,898
1 固定資産	11,989,694
(1) 有形固定資産	11,318,349
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	671,345
2 流動資産	4,864,204
(1) 現金及び預金	3,052,488
(2) 未収金及び未収収益	1,694,849
(3) 貸倒引当金()	1,806
(4) 貯蔵品	118,673
3 繰延資産	-
負債合計	8,962,945
1 固定負債	6,862,212
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,954,209
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,872,942
(7) リース債務	35,061
2 流動負債	1,359,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	406,722
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	468,167
(6) リース債務	14,967
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	428,062
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	741,352
(1) 長期前受金	1,647,865
(2) 長期前受金収益化累計額()	906,513
資本合計	7,890,953
1 資本金	7,316,414
2 剰余金	574,539
(1) 資本金剰余金	11,664
(2) 利益剰余金	562,875
負債・資本合計	16,853,898
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	157,087	129,223
資本勘定繰入	304,239	234,643
計	461,326	363,866

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	群馬県
				市町村・組合名	富岡地域医療企業団
				病院名	七日市病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	8,552 m ²	指定病院の状況			
診療科数	4	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	112	75.8	73.4	85.9
療養	57	87.9	89.2	94.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	169	79.9	78.7	88.6
平均在院日数(一般病床のみ)		55.4	57.6	61.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	107.1
修正医業収益(千円)	1,835,972

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,897,766			
1 経常収益	1,897,766			
(1) 医業収益	1,835,972			
入院収益	1,555,101			
外来収益	241,934			
診療収入計	1,797,035			
その他医業収益	38,937			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	61,794			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	18,082			
(うち長期前受金戻入)	36,580			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,770,475			
2 経常費用	1,770,475			
(1) 医業費用	1,713,955			
職員給与費	1,294,953	70.5	55.7	61.3
材料費	96,695	5.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	36,955	2.0	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,053	1.0	11.0	8.2
減価償却費	76,408	4.2	9.0	10.2
経費	241,596	13.2	23.3	30.5
(うち委託料)	128,325	7.0	11.5	13.0
研究研修費	2,997			
資産減耗費	1,306			
(2) 医業外費用	56,520			
(うち支払利息)	22,066	1.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	127,291			
純損益	127,291			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		97.7	96.5
医業収支比率	107.1		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	1.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	1.0		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	1.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	106.2		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,853,898
1 固定資産	11,989,694
(1) 有形固定資産	11,318,349
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	671,345
2 流動資産	4,864,204
(1) 現金及び預金	3,052,488
(2) 未収金及び未収収益	1,694,849
(3) 貸倒引当金()	1,806
(4) 貯蔵品	118,673
3 繰延資産	-
負債合計	8,962,945
1 固定負債	6,862,212
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,954,209
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,872,942
(7) リース債務	35,061
2 流動負債	1,359,381
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	406,722
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	468,167
(6) リース債務	14,967
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	428,062
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	741,352
(1) 長期前受金	1,647,865
(2) 長期前受金収益化累計額()	906,513
資本合計	7,890,953
1 資本金	7,316,414
2 剰余金	574,539
(1) 資本剰余金	11,664
(2) 利益剰余金	562,875
負債・資本合計	16,853,898
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	24,810	18,082
資本勘定繰入	56,381	56,381
計	81,191	74,463

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	群馬県
				市町村・組合名	下仁田南牧医療事務組合
				病院名	下仁田厚生病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	9,381 m ²	指定病院の状況	救	輪	
診療科数	14	看護配置	13	: 1	
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	94	76.7	81.4	78.7
療養	-	98.4	98.0	86.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	94	80.5	86.4	81.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	15.4	17.3

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.9
修正医業収益(千円)	1,159,202

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,533,407			
1 経常収益	1,533,407			
(1) 医業収益	1,181,724			
入院収益	881,646			
外来収益	218,239			
診療収入計	1,099,885			
その他医業収益	81,839			
(うち他会計負担金)	22,522			
(2) 医業外収益	351,683			
(うち国・都道府県補助金)	50			
(うち他会計補助・負担金)	313,773			
(うち長期前受金戻入)	13,797			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,534,371			
2 経常費用	1,534,371			
(1) 医業費用	1,487,349			
職員給与費	1,071,085	90.6	55.7	72.6
材料費	154,714	13.1	24.7	15.8
(うち薬品費)	59,346	5.0	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	67,974	5.8	11.0	5.6
減価償却費	92,196	7.8	9.0	11.1
経費	165,284	14.0	23.3	31.9
(うち委託料)	39,349	3.3	11.5	13.0
研究研修費	3,292			
資産減耗費	778			
(2) 医業外費用	47,022			
(うち支払利息)	18,022	1.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-964			
純損益	-964			
累積欠損金	2,169,688			
経常収支比率	99.9		97.7	97.4
医業収支比率	79.5		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	21.9		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	28.5		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	21.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	78.0		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,153,540
1 固定資産	2,740,741
(1) 有形固定資産	2,719,393
(2) 無形固定資産	2
(3) 投資その他の資産	21,346
2 流動資産	412,799
(1) 現金及び預金	201,078
(2) 未収金及び未収収益	204,132
(3) 貸倒引当金()	1,327
(4) 貯蔵品	8,904
3 繰延資産	-
負債合計	2,181,719
1 固定負債	1,545,756
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	960,541
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	585,215
(7) リース債務	-
2 流動負債	206,340
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	91,164
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,689
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	43,829
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	429,623
(1) 長期前受金	618,134
(2) 長期前受金収益化累計額()	188,511
資本合計	971,821
1 資本金	3,112,481
2 剰余金	-2,140,660
(1) 資本金剰余金	29,028
(2) 利益剰余金	-2,169,688
負債・資本合計	3,153,540
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	343,252	336,295
資本勘定繰入	52,962	52,962
計	396,214	389,257

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	183.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	群馬県
		市町村・組合名	吾妻広域町村圏振興整備組合(事業会計分)
		病院名	中之条病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	6,080 m ²	指定病院の状況	
診療科数	1	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	223	86.7	85.5	86.7
感染症	-	-	-	-
計	223	86.7	85.5	86.7
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	53,294			
1 経常収益	53,294			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	53,294			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	53,033			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	52,843			
2 経常費用	52,843			
(1) 医業費用	52,843			
職員給与費	-	-	55.7	98.9
材料費	-	-	24.7	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	50,297	-	9.0	12.7
経費	2,546	-	23.3	34.6
(うち委託料)	-	-	11.5	17.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	451			
純損益	451			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.9		97.7	98.9
医業収支比率	-		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	99.5		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	99.5		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	0.5		85.7	64.3

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,342,807
1 固定資産	930,043
(1) 有形固定資産	930,043
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	412,764
(1) 現金及び預金	412,764
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	76,626
1 固定負債	500
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	76,126
(1) 長期前受金	1,072,715
(2) 長期前受金収益化累計額()	996,589
資本合計	1,266,181
1 資本金	211,568
2 剰余金	1,054,613
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	1,054,613
負債・資本合計	1,342,807
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	53,033	53,033
資本勘定繰入	-	-
計	53,033	53,033

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	群馬県
	市町村・組合名	西吾妻福祉病院組合(事業会計分)
	病院名	西吾妻福祉病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,903 m ²	指定病院の状況	救 へ 輪
診療科数	10	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	74	77.3	70.3	73.0
療養	-	-	40.1	65.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	74	77.3	60.2	70.6
平均在院日数(一般病床のみ)		20.8	15.4	15.4

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	446,890			
1 経常収益	408,230			
(1) 医業収益	37,068			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	37,068			
(うち他会計負担金)	37,068			
(2) 医業外収益	371,162			
(うち国・都道府県補助金)	1,619			
(うち他会計補助・負担金)	275,190			
(うち長期前受金戻入)	79,190			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	38,660			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	566,619			
2 経常費用	566,617			
(1) 医業費用	519,726			
職員給与費	23,230	62.7	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	153,473	414.0	9.0	11.1
経費	343,023	925.4	23.3	31.9
(うち委託料)	14,745	39.8	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	46,891			
(うち支払利息)	41,557	112.1	1.4	1.7
(3) 特別損失	2			
損益				
経常損益	-158,387			
純損益	-119,729			
累積欠損金	110,253			
経常収支比率	72.0		97.7	97.4
医業収支比率	7.1		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	76.5		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	842.4		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	69.9		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	16.9		85.7	74.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,587,303
1 固定資産	2,358,469
(1) 有形固定資産	1,609,924
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	748,545
2 流動資産	228,834
(1) 現金及び預金	228,834
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,216,322
1 固定負債	1,717,989
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,717,989
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	215,473
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	213,270
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,512
(6) リース債務	691
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	282,860
(1) 長期前受金	2,516,905
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,234,045
資本合計	370,981
1 資本金	30,041
2 剰余金	340,940
(1) 資本金剰余金	449,193
(2) 利益剰余金	-108,253
負債・資本合計	2,587,303
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	164,524	312,258
資本勘定繰入	130,388	162,388
計	294,912	474,646

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	297.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。